

# 2023宮城県議選 立候補予定者 こども・子育て政策に関するアンケート

回答者名【わたなべ 拓】 立候補予定選挙区【太白】 所属政党【自由民主党】

問1. 子どもをもう一人、と望む家庭でも経済的理由から二の足を踏む親御さんもいると聞きます。東京都の018サポートや、大阪府の子育て世帯向け食料支援など、経済支援を行っている都道府県もありますが、子どもを生み育てやすい県にするために、宮城県には何が必要と考えますか？

宮城には「給付型奨学金制度」が必要と考えます。子育て世帯の負担感の最たるものは高等教育に係る学費負担であり、給付型の奨学金制度の創設が最も効果的な経済的支援となるものと考えます。

問2. 埼玉県議会で提出されていた虐待禁止条例の一部改正案については賛否両論の声があがっていました。宮城県においてもこのような法案が必要と考えますか？

虐待防止の観点を重視するあまり、単なる子供の留守番まで虐待として通報・罰則の対象となるなど均衡を失った条例内容となってしまう失敗例と認識します。子供に対する虐待防止は重要ですが、同時に、保護者の就労の実態にも留意すべきであり、単に外形的に子供の虐待防止との目的のみが実現できればそれによしとするような短絡的な条例内容では社会を混乱させるだけであり賛同できません。

問3. 子育て世帯の関心が高いいじめ問題ですが、宮城県としてどう対策していくべきと考えますか？

- ①教員と教育委員会がいじめの事実を隠蔽しないこと、
- ②保護者や子供がいじめは卑怯であり決して許されないこととの認識を共有し日常のあらゆる契機に強く戒めること、
- ③いじめの事実が判明した際には躊躇なく警察を介入させること、
- ④校長・教育委員会が強い決意のもと加害者の出席停止など毅然たる対処をすること

問4. ひとり親家庭には、医療費のサポートがあるものの、一度立て替えた上で後日振り込まれる方法となっており、経済的に厳しいという声があります。これについてどうなっていくべきと考えますか？

悩ましい問題です。私自身、中学1年生から母子家庭で育ちましたし、その過程で、定型的家庭との経済的格差を感じることもありました。一旦立て替えたうえで後日振り込まれるかたちをとることで医療費の濫用の歯止めとしている一方で、一旦立て替えることによる受診控えもあり得るので、悩ましいところです。生活保護制度との兼ね合いも踏まえ、事案ごとに柔軟に対処する他ないと考えます。

問5. 今年8月に発表された宮城県医療的ケア児等相談支援センター(愛称:ちるふぁ)の調査によると、医療的ケア児は県内に333人います。支援は進んでいますが、一方当事者からはまだ相談してもらいたい回しになるという現状は変わっていないという声もあります。医療的ケア児の相談体制としてはどうなっていくべきだと思いますか？

県市連携で医療的ケア児等コーディネーターの配置を進め、相談支援機能を拡充し、利用希望者が医療型短期入所サービスにアクセスできるようにすべき。また、医療的ケアに対応できる看護師の養成を拡充すべきと考えます。

こども達のために、日本を変える

**Florence**